

いま求められる医療をもっと高めたい

放射線治療センタースタッフ



治療に関する疑問や不安などに対して、医師、技師、看護師、医療クラークがチームとなって患者さんをサポートいたします。



川崎幸病院 副院長
放射線治療センター長
田中 良明

・放射線治療専門医
・元日本大学医学部放射線科教授



川崎幸病院
放射線治療医
山下 英臣

(非常勤)
(毎週火曜日診療)

最近のがん治療は目覚しく進歩し、集学的治療により治療成績の向上とQOL(生活の質)の改善が得られるようになりました。新設なった川崎幸病院では、最新のがん放射線療法への実現に向けて、高度な医療技術の提供と、専門スタッフによる患者さんへの全面的な支援を行ってまいります。

当院への受診をお考えの方へ

- 受診は予約制となっております。☎ 事前にお電話でご予約ください。
- 各種ご相談、ご質問にもお応えいたします。☎ お気軽にお電話にてお問い合わせください。

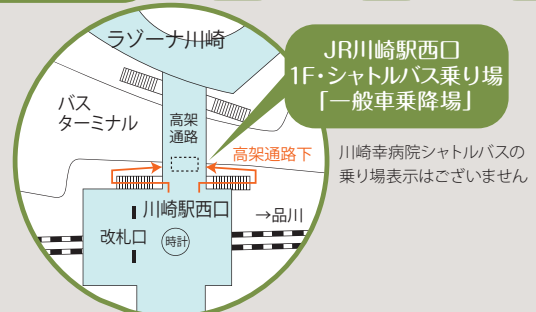
TEL 受診予約・お問い合わせ先
044-544-4611



社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
放射線治療センター

受診予約・お問い合わせ: TEL.044-544-4611

シャトルバスをご利用ください
川崎幸クリニック ↔ 川崎幸病院 ↔ JR川崎駅西口



社会医療法人財団 石心会
川崎幸病院

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番地27

http://www.saiwaihp.jp/

Kawasaki SAIWAI Hospital

川崎幸病院 放射線治療センター



患者さんの立場に立って
安心して治療が受けられる
質の高い医療を提供いたします



いま求められる医療をもっと高めたい

社会医療法人財団 石心会
川崎幸病院

川崎幸病院の放射線治療法

がんの治療法には、①外科(手術)療法、②放射線療法、③化学療法(抗がん剤治療)があり、これらは「がんの3大治療法」と呼ばれ、その治療は近年目覚しく進歩しています。

中でも放射線療法は、高精度な治療に向けての医療機器の開発とコンピュータ技術の進歩を背景に、これまで以上に正常な組織や臓器への影響を減らし、効果的にがん病巣部へ照射できるようになりました。



●放射線療法とは?

放射線は、細胞分裂を活発に行う細胞ほど殺傷しやすい性質を持っています。このため、がん細胞は正常な細胞に比べて放射線の影響を受けやすく、一定の線量を小分けにして何回も照射することで、正常な細胞にはあまり影響を与えず、がん細胞を殺傷することができるのです。

川崎幸病院の放射線治療センターでは、エレクタ社のシナジーという最新の放射線治療装置(直線加速器)を導入しています。この治療装置にはCT装置が装てんされており、これを用いて治療前の正確な位置決めと治療ビームの照準ができるようになっています。これにより、病巣部への理想的な照射が可能となりました。

実際には、乳がん、前立腺がん、肺がんなどさまざまな腫瘍に対して、患者さんの負担が少なくなり、これまでよりも安心して優しい治療が受けられるようになったのが大きな特徴です。

治療の流れ



受付

- 2階総合受付にお越しください。
- 他医療機関の紹介状をお持ちの方は、受付にご提示ください。



検査

- CT撮影
CT画像で腫瘍の位置や形状などを確認し、治療計画を立てます。
- 血液・生化学検査
必要な場合は、貧血や白血球減少の有無、肝機能・腎機能のチェック、腫瘍マーカーのチェックなどを行います。



治療計画説明

- 検査結果を元に、実際の治療の計画をご説明いたします。
- 患者さんがご理解いただけるようにわかりやすくご説明いたします。



治療開始

- 原則として、治療計画説明から1週間後に治療を開始します。
- 治療はがんの部位によって異なりますが、25～35回ほど通院治療していただきます。
- 実際の治療時間は数分程度ですが、IMRT(後述)など複雑な治療では数十分程度となります。



治療後の経過観察

- 一連の治療が終わった後、今後の注意事項などを含めて患者さんにご説明いたします。

川崎幸病院での放射線治療の特徴

● 東大病院との連携 ～質の高い治療～

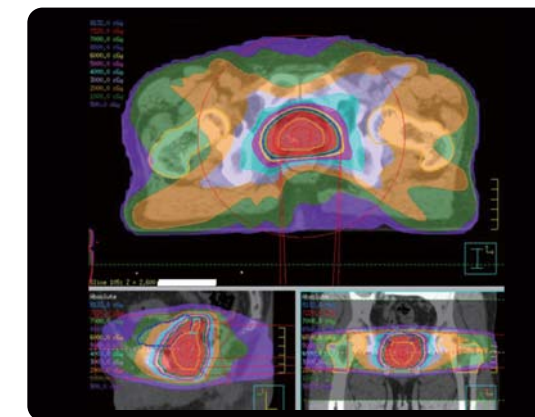
私たちは、放射線治療を開始するにあたり、東京大学医学部附属病院の協力を求めました。その結果、東大病院放射線科の協力のもとに、大学病院と同一機種最新の放射線治療装置(直線加速器;リニアックともいう)を導入し、大学と情報を共有しながら全く同じ水準の、質の高い治療を実現しています。



放射線治療装置(エレクタ社シナジー)

● IMRT(強度変調放射線治療) ～先進的な治療技術～

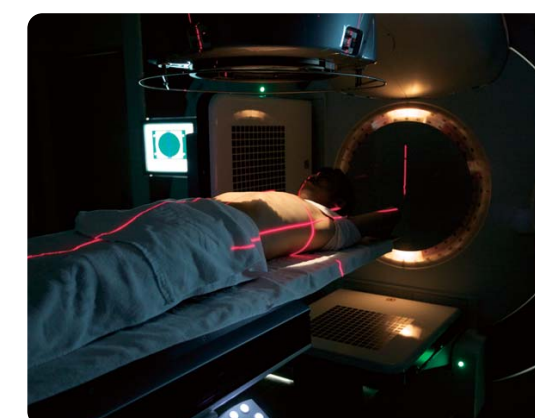
IMRTとは、コンピュータ制御により、多方向からの照射ビーム内の放射線の強度を調節することで、正常組織への放射線照射量を抑えつつ、かつ腫瘍部分に放射線を集中して照射できる画期的な照射技術です。この技術により、正常組織への影響を減らし、効率的に腫瘍のみを攻撃することが可能になります。



前立腺がんに対するIMRT線量分布図

● IGRT(画像誘導放射線治療) ～高精度治療～

IGRTとは、放射線治療時に画像情報を取得し、腫瘍の位置誤差を補正しながら正確に放射線照射を行う技術のことです。当院の治療装置にはCT装置も一緒に装填されており、これを用いて治療前の位置合わせを行います。また当院では、従来の3軸方向にさらに回転方向の3軸が加わった6軸補正法を用いています。これにより、治療計画で立てた理想のプランに限りなく近い正確な照射が可能となります。



治療前の正確な位置あわせ